

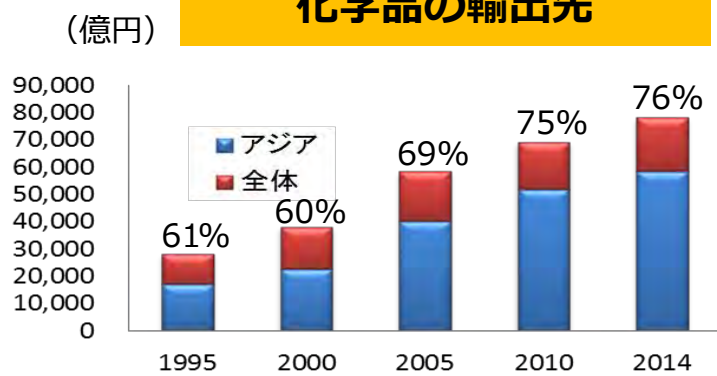
化学物質管理に係る国際協力 について

平成28年2月
経済産業省
化学物質管理課

アジア地域の重要性

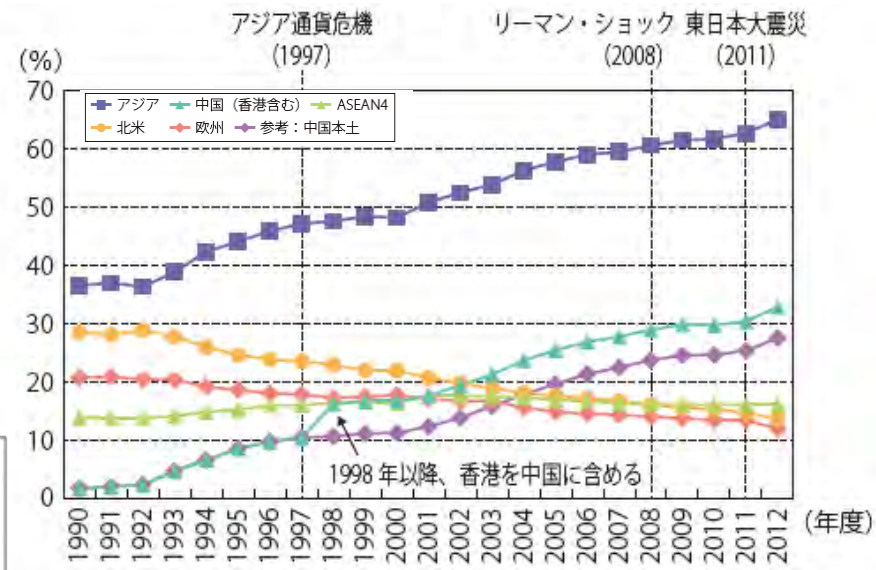
- 我が国企業にとって、アジア地域は化学品をはじめとする各種製品の主要な輸出市場。
- 我が国の化学品輸出先を見ると、アジアが約76%（2014年）。
- 同時に、生産・分業拠点として、我が国製造業のサプライチェーンの重要な役割を担っている。

化学品の輸出先



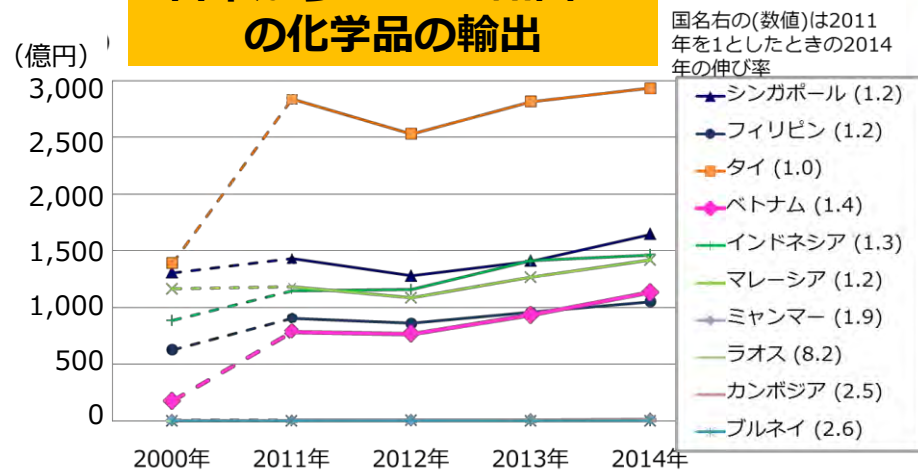
(出典) 日本化学工業協会「Chemical Industry of Japan 2015」

現地法人の推移 (主要地域別シェア)



(出典) 通商白書2014

日本からASEAN諸国への 化学品の輸出



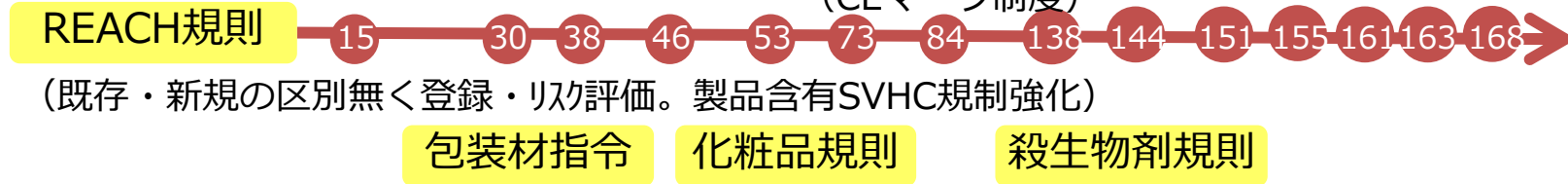
(出典) 財務省貿易統計より作成

化学物質規制のアジアへの拡大

2000~2006年 2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年 2015年

ELV指令 RoHS指令 (電気電子製品、6物質の含有規制) RoHS II 指令 (CEマーク制度) (下記は法令の一部)

欧州



アジア



EUが先鞭を付けた化学物質規制の強化は、近年、アジア各国に次々と拡大

米国

加州グリーンケミストリー法 (消費者製品全般)



【背景】

- **持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD、2002年）目標の実現**
科学的なリスク評価及びリスク管理により、2020年までに化学物質の人・環境への著しい悪影響を最小化。
- **アジアにおける化学物質管理制度の相互調和の推進**
 - ・ 我が国企業のサプライチェーンはアジアワイドに拡大
 - ・ 有害性情報をアジア域内で共同で収集し、共通基盤化するとともに、各国制度を調和させることによって、効果的な化学物質管理を実現



- 対話と支援を通じた化学物質管理制度の強化に向けた二国間協力文書の締結（タイ、ベトナム）と協力文書に基づく協力の具体化に向けた政策対話の実施
- ASEANワイドの化学物質管理データベース^{※1}の構築に向け、AMEICCの枠組みを活用しつつ、アセアン各国との検討を推進。2015年4月からの試験運用を開始、2016年4月から本格運用予定。

(参考) データベースについては、日アセアン経済大臣会合においても評価(第21回 AEM-METI (2015.8.23))

3. ...The Ministers also welcomed the progress of AMEICC activities...such as...iv) starting the trial operation of ASEAN-Japan Chemical Safety Database aiming to start the full operation in April 2016...

※1 : ASEAN-Japan Chemical Safety Database - 詳細は後述

タイ及びベトナムとの覚書（MOC）による二国間協力

- 科学的リスク評価に基づく効率的な化学物質管理制度の構築を支援するため、人材育成や技術協力、さらには化学物質管理政策に関する定期的な二国間政策対話の設置を規定したMOCをベトナム商工省、タイ王国工業省工場局と2012年7月及び8月にそれぞれ締結。
- ベトナムとは2015年7月に、タイとは2015年12月にそれぞれ第2期のMOCを締結。
※署名者
ベトナム：宮沢経済産業大臣とホアン商工大臣
タイ：福島審議官とパスー工業省工場局長



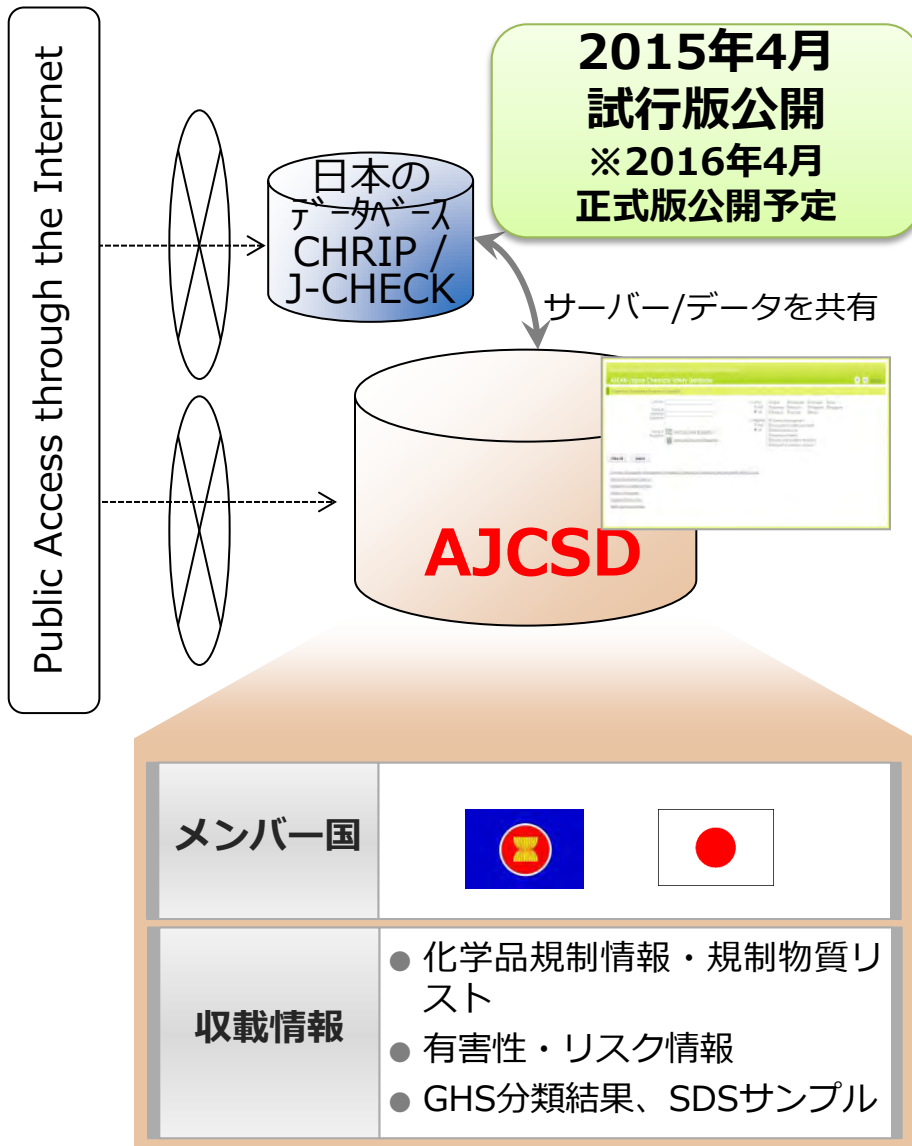
タイ

- 協力内容
定期的にワークショップを開催し、日本の化審法及びスクリーニング・リスク評価手法を紹介。現在はタイにおいて数物質のスクリーニング評価の試行を実施中。
- 政策対話
これまでに3回の政策対話を開催。
 - ・第1回 2012年11月（バンコク）
 - ・第2回 2014年 3月（バンコク）
 - ・第3回 2015年 2月（バンコク）

ベトナム

- 協力内容
化学品法におけるインベントリとデータベース作成の支援、越語版のGHS混合物分類システムの提供等によるGHS導入支援を実施。2015年4月よりJICA技術協力プロジェクトを開始。
- 政策対話
これまでに3回の政策対話を開催。
 - ・第1回 2012年12月（ハノイ）
 - ・第2回 2013年11月（東京）
 - ・第3回 2014年11月（ハノイ）
 - ・第4回 2015年11月（東京）

ASEAN-Japan Chemical Safety Database (AJCSD) 1



ASEAN各国と我が国産業界の要望

- ASEAN各国：WSSD2020年目標に向けた制度整備
 - ASEAN共同体において加速する流通に対する化学物質管理の高度化
 - 日ASEANデータベースとのリンクによる情報のタイムリーなアップデート
- 我が国産業界：
 - (直近) ASEAN各国の規制を化学物質ごとに検索
 - (将来) 各国規制やGHS分類の整合化

日ASEANデータベースの開発

- 各国の規制を透明化し、ASEAN域内での日系企業のオペレーションを円滑化するとともに、各国におけるコンプライアンスリスクの低減を図るためのツールとなることを期待。

ASEAN-Japan Chemical Safety Database (AJCSD) 2

2015年4月6日
試行版の運用を開始

(URL) <http://www.ajcsd.org/top>

TRIAL OPERATION ASEAN-Japan Chemical Safety Database

Menu

Select language

Japanese ▼

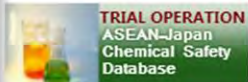
[Agree to the Disclaimers](#)

Search Chemicals

Inquiry about this site

Please contact us from the link to ask the inquiry about this site. The site administrator replies by an email.

[Contact us](#)



Information

2015.10.27

GHS classification information of Myanmar is uploaded.

2015.10.16

GHS classification information of Japan is updated.

2015.6.18

Regulatory and GHS classification information of Malaysia is updated.

2015.3.26

Regulatory and contact information of Indonesia is uploaded.

2015.3.26

Regulatory information of Thailand is uploaded.

2015.3.3

Regulatory and contact information of Cambodia is uploaded.

2015.3.3

Regulatory and contact information of Lao PDR is uploaded.

(参考)NITEによる海外機関(韓国・台湾)との覚書(MOU)の締結

NITEは、化学物質管理分野における友好的協力関係の構築及び情報交換の推進を目指して、2014年9月に韓国の化学物質管理協会(KCMA)と、2015年3月に台湾の安全衛生技術センター(SAHTECH)と覚書(MOU)を締結。

<MOUのポイント>

- ①両国の法規制化学物質リストの情報を共有するとともに、NITEではCHRIPに同リストを掲載
- ②互いの国の法規制を理解するため、化学物質管理の関係当局を交えた情報交換などの実施

<署名式:KCMA>

日時:2014年9月24日

<MOUの署名者>

韓国側:韓国化学物質管理協会(KCMA)
理事長

日本側:NITE化学物質管理センター所長

<直近の会合>:第1回NITE-KCMA会合
(2015年10月)



<署名式:SAHTECH>

日時:2015年3月26日

<MOUの署名者>

台湾側:安全衛生技術センター
(SAHTECH)理事長

日本側:NITE化学物質管理センター所長



EUとの関係の強化

化学品に関連する政策について、日EUの担当部局同士で率直な意見交換を行う場を持つべく、平成25年から日EU産業政策対話の下部組織として化学品WGを立ち上げ

- 第一回会合は平成25年7月5日に、第二回会合は平成26年10月8日にブリュッセルにおいて開催。化審法やREACHの運用等について意見交換を行うとともに、お互いの化学物質管理政策の最近のトピックスについても共有。
- 第三回会合を本年2月に開催予定。

(参考)

第1回化学品WGの議題

- REACH及び化審法の最近の動向について
- ナノ物質の安全性など新たな課題への対応について
- 第三国の化学物質管理政策の動向について

第2回化学品WGの議題

- REACH及び化審法の最近の動向について
- ナノ物質やUVCB物質のリスク評価手法について
- chemSHERPA(化学物質情報伝達スキーム)について